



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

玉名横島海岸保全事業

横島荷揚場施設整備その1工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
玉名横島海岸保全事業所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			78,790,000	
・工事原価			66,758,000	
純工事費			52,310,000	
・直接工事費			40,518,000	
・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	38,373,000	
・直接工事費（仮設工）	1.000	式	2,145,000	
・間接工事費			26,240,000	
・共通仮設費			11,792,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	2,291,000	
・運搬費～営繕費等				
$42,809,000 \times ((8.480 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.020 \times 1.000)$			4,071,000	
・運搬費	1.000	式	5,059,000	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			371,000	
・現場環境改善費（率計上）				
$39,996,000 \times (0.930)$			371,000	
・現場環境改善費（積上）	1.000	式	0	
・現場管理費			14,448,000	
・現場管理費（率計上）				
$52,310,000 \times ((23.910 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 - 0.000)$			14,448,000	
・現場管理費（積上）	1.000	式	0	
・現場管理費（一般管理费率対象外）	1.000	式	0	
・工期延長に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額（直工）	1.000	式	0	
・官貸額（事業損失防止）	1.000	式	0	
・官貸額（直工・事業損失防止除く）	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$66,758,000 \times (17.970 \times 1.000 + 0.04)$			12,023,000	
・一括計上価格	1.000	式	12,000	
支給品費			0	
支給品費（直工・事業損失防止）			0	
支給品費（直工）			0	
処分費等（直接工事費の内数）			522,000	
処分費（準備費の内数）			0	
処分費（事業損失防止施設費内数）			0	
処分費等（率対象外）			0	

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）				38,373,000	
・直立消波ブロック移動	1.000	式		368,000	
・ ・直立消波ブロック移動	1.000	式		368,000	
000001 消波ブロック移動 底版ブロック,9.4t/個	25.000	個	2,820	70,500	歩A・単A B単 1号
000002 消波ブロック移動 直立消波ブロック（標準型）,14.1t/個	41.000	個	3,220	132,020	歩A・単A B単 2号
000003 消波ブロック移動 直立消波ブロック（1/2型）,7.05t/個	18.000	個	2,624	47,232	歩A・単A B単 3号
000004 消波ブロック移動 プレキャスト版（標準型）,2.3t/個	41.000	個	2,012	82,492	歩A・単A B単 4号
000005 消波ブロック移動 プレキャスト版（1/2型）,1.15t/個	18.000	個	2,012	36,216	歩A・単A B単 5号
合 計				368,460	
・構造物撤去工	1.000	式		2,694,000	
・ ・構造物撤去工 鉄筋コンクリート	1.000	式		1,874,000	
000006 構造物取壊し 鉄筋コンクリート	117.000	m3	16,020	1,874,340	歩A・単A B単 6号
合 計				1,874,340	
・産業廃棄物処理	1.000	式		820,000	
000007 産業廃棄物処理 鉄筋コンクリート	117.000	m3	7,009	820,053	歩A・単A B単 7号
合 計				820,053	
・土工	1.000	式		4,866,000	
・ ・土工	1.000	式		3,313,000	
000008 床掘 土砂	2,930.000	m3	277	811,610	歩A・単A B単 8号
000009 床掘 捨石	41.000	m3	381	15,621	歩A・単A B単 9号
000010 盛土 掘削土流用	80.000	m3	968	77,440	歩A・単A B単 10号
000011 基礎捨石（流用） 10～200kg,掘削土流用	41.000	m3	316	12,956	歩A・単A B単 11号
000012 基礎捨石（流用） 10～200kg,流用材（石材取場1）	476.000	m3	1,092	519,792	歩A・単A B単 12号
000013 裏込栗石（流用） 5～15cm/個,流用材（石材取場2）	480.000	m3	863	414,240	歩A・単A B単 13号
000014 間詰工 RC=40,t=10cm	18.000	m3	3,418	61,524	歩A・単A B単 14号
000015 浸食防止シート t=5mm,港湾用防砂シート（沈降性）	850.000	m ²	1,647	1,399,950	歩A・単A B単 15号
合 計				3,313,133	
・作業残土処理	1.000	式		1,553,000	
000016 建設発生土搬出（建設発生土受入地） 砂質土	2,840.000	m3	547	1,553,480	歩A・単A B単 16号
合 計				1,553,480	
・矢板工	1.000	式		29,405,000	
・ ・鋼矢板打設	1.000	式		29,405,000	
000017 鋼矢板打設 ハット形25H,L=13.0m,打設長11.0m,バィブロンマ工法	91.000	枚	323,131	29,404,921	歩A・単A B単 17号
合 計				29,404,921	
・直立消波ブロック据付工	1.000	式		1,040,000	
・ ・消波ブロック基礎	1.000	式		344,000	
000018 基礎碎石 t=150mm	233.000	m ²	1,475	343,675	歩A・単A B単 18号

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1 工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000001	*** B単ー 1号 *** 消波ブロック移動					
	底版ブロック, 9.4t/個		個	2,820		歩A・単A
000002	*** B単ー 2号 *** 消波ブロック移動					
	直立消波ブロック (標準型), 14.1t/個		個	3,220		歩A・単A
000003	*** B単ー 3号 *** 消波ブロック移動					
	直立消波ブロック (1/2型), 7.05t/個		個	2,624		歩A・単A
000004	*** B単ー 4号 *** 消波ブロック移動					
	プレキャスト版 (標準型), 2.3t/個		個	2,012		歩A・単A
000005	*** B単ー 5号 *** 消波ブロック移動					
	プレキャスト版 (1/2型), 1.15t/個		個	2,012		歩A・単A
000006	*** B単ー 6号 *** 構造物取壊し					
	鉄筋コンクリート		m3	16,020		歩A・単A
000007	*** B単ー 7号 *** 産業廃棄物処理					
	鉄筋コンクリート		m3	7,009		歩A・単A
000008	*** B単ー 8号 *** 床掘					
	土砂		m3	277		歩A・単A
000009	*** B単ー 9号 *** 床掘					
	捨石		m3	381		歩A・単A
000010	*** B単ー 10号 *** 盛土					
	掘削土流用		m3	968		歩A・単A
000011	*** B単ー 11号 *** 基礎捨石 (流用)					
	10～200kg, 掘削土流用		m3	316		歩A・単A
000012	*** B単ー 12号 *** 基礎捨石 (流用)					
	10～200kg, 流用材 (石材取場1)		m3	1,092		歩A・単A
000013	*** B単ー 13号 *** 裏込栗石 (流用)					
	5～15cm/個, 流用材 (石材取場2)		m3	863		歩A・単A
000014	*** B単ー 14号 *** 間詰工					
	RC-40, t=10cm		m3	3,418		歩A・単A
000015	*** B単ー 15号 *** 浸食防止シート					
	t=5mm, 港湾用防砂シート (沈降性)		m ²	1,647		歩A・単A
000016	*** B単ー 16号 *** 建設発生土搬出 (建設発生土受入地)					
	砂質土		m3	547		歩A・単A
000017	*** B単ー 17号 *** 鋼矢板打設					
	ハット形25H, L=13.0m, 打設長11.0m, ハット型ハンマ工法		枚	323,131		歩A・単A
000018	*** B単ー 18号 *** 基礎砕石					
	t=150mm		m ²	1,475		歩A・単A
000019	*** B単ー 19号 *** 型枠用デッキプレート取付					
	H=1500, B=2300 (4.18m ² /97.64kg)		面	25,636		歩A・単A
000020	*** B単ー 20号 *** 消波ブロック据付					
	底版ブロック, 9.4t/個		個	3,759		歩A・単A
000021	*** B単ー 21号 *** 消波ブロック据付					
	直立消波ブロック (標準型), 14.1t/個		個	4,295		歩A・単A
000022	*** B単ー 22号 *** 消波ブロック据付					

[illegible]

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単一 1号 ***					
000001	消波ブロック移動 底版ブロック, 9.4t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00002	消波ブロック転置 7.5tを超え12.5t以下, クロークレーン100t吊り	10,000	個	2,820	28,200	T単 2号
	合 計				28,200	
	単 価				2,820	
	*** B単一 2号 ***					
000002	消波ブロック移動 直立消波ブロック (標準型), 14.1t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00001	消波ブロック転置 12.5tを超え22.0t以下, クロークレーン100t吊り	10,000	個	3,220	32,200	T単 1号
	合 計				32,200	
	単 価				3,220	
	*** B単一 3号 ***					
000003	消波ブロック移動 直立消波ブロック (1/2型), 7.05t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00003	消波ブロック転置 4.5tを超え7.5t以下, クロークレーン100t吊	10,000	個	2,624	26,240	T単 3号
	合 計				26,240	
	単 価				2,624	
	*** B単一 4号 ***					
000004	消波ブロック移動 プレキャスト版 (標準型), 2.3t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00004	消波ブロック転置 4.5t以下, クロークレーン100t吊	10,000	個	2,012	20,120	T単 4号
	合 計				20,120	
	単 価				2,012	
	*** B単一 5号 ***					
000005	消波ブロック移動 プレキャスト版 (1/2型), 1.15t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00004	消波ブロック転置 4.5t以下, クロークレーン100t吊	10,000	個	2,012	20,120	T単 4号
	合 計				20,120	
	単 価				2,012	
	*** B単一 6号 ***					
000006	構造物取壊し 鉄筋コンクリート		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 有筋, なし, 機械, 昼間施工, しない	1,000	m3	16,020	16,020	S単 20号
	合 計				16,020	
	単 価				16,020	
	*** B単一 7号 ***					
000007	産業廃棄物処理 鉄筋コンクリート		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 般運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 18.5km以下,	1,000	m3	3,009	3,009	S単 38号
S02123	建設廃材 鉄筋コンクリート廃材	1,000	m3	4,000	4,000	S単 17号
	合 計				7,009	
	単 価				7,009	

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
*** B単- 8号 ***						
000008	床掘 土砂		m3		1.000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし	1.000	m3	277.4	277	S単 34号
	合 計				277	
	単 価				277	
*** B単- 9号 ***						
000009	床掘 捨石		m3		1.000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 岩塊・玉石,標準,無し,無し,なし	1.000	m3	381	381	S単 35号
	合 計				381	
	単 価				381	
*** B単- 10号 ***						
000010	盛土 掘削土流用		m3		1.000	歩A 当たり算出
S86803	SP 【被災地】路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満, -, -, なし	1.000	m3	968.2	968	S単 33号
	合 計				968	
	単 価				968	
*** B単- 11号 ***						
000011	基礎捨石(流用) 10~200kg,掘削土流用		m3		1.000	歩A 当たり算出
S86802	SP 【被災地】積込(ルーズ) 破碎岩,土量50,000m3未満	1.000	m3	315.6	316	S単 32号
	合 計				316	
	単 価				316	
*** B単- 12号 ***						
000012	基礎捨石(流用) 10~200kg,流用材(石材取場1)		m3		1.000	歩A 当たり算出
S86802	SP 【被災地】積込(ルーズ) 破碎岩,土量50,000m3未満	1.000	m3	315.6	316	S単 32号
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,ハック初山積0.8m3(平積0.6m3),硬岩,無し,1.5km以下	1.000	m3	776.4	776	S単 36号
	合 計				1,092	
	単 価				1,092	
*** B単- 13号 ***						
000013	裏込栗石(流用) 5~15cm/個,流用材(石材取場2)		m3		1.000	歩A 当たり算出
S86802	SP 【被災地】積込(ルーズ) 破碎岩,土量50,000m3未満	1.000	m3	315.6	316	S単 32号
SA0121	SP 土砂等運搬 標準,ハック初山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,1.5km以下	1.000	m3	547.3	547	S単 37号
	合 計				863	
	単 価				863	
*** B単- 14号 ***						
000014	間詰工 RC-40, t=10cm		m3		1.000	歩A 当たり算出
S02116	再生クラッシュラン ,RC-40 40~0mm,	1.000	m3	2,450	2,450	S単 9号
S86803	SP 【被災地】路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満, -, -, なし	1.000	m3	968.2	968	S単 33号

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				3,418	
	単 価				3,418	
	*** B単ー 15号 ***					
000015	浸食防止シート t=5mm, 港湾用防砂シート (沈降性)		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0269	SP 吸出し防止材 (全面) 設置 -	1.000	m ²	1,647	1,647	S単 39号
	合 計				1,647	
	単 価				1,647	
	*** B単ー 16号 ***					
000016	建設発生土搬出 (建設発生土受入地) 砂質土		m ³		100.000	歩A 当たり算出
SA0121	SP 土砂等運搬 標準, バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³), 土砂 (岩塊・玉石混り土含む), 無し, 1.5km以下	100.000	m ³	547.3	54,730	S単 37号
	合 計				54,730	
	単 価				547	
	*** B単ー 17号 ***					
000017	鋼矢板打設 ハット形25H, L=13.0m, 打設長11.0m, バイブレーション工法		枚		1,000	歩A 当たり算出
T00009	バイブレーション工 (ハット形鋼矢板打設) 電動式, 12m以下, 60kW (ハット形鋼矢板用), ハット形25H	1.000	枚	312,848	312,848	T単 9号
SO2116	鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額 陸上渡し12m超18m以下, ,	1.469	ton	7,000	10,283	S単 11号
	合 計				323,131	
	単 価				323,131	
	*** B単ー 18号 ***					
000018	基礎砕石 t=150mm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシュラン RC-40 40~0mm	1.000	m ²	1,475	1,475	S単 40号
	合 計				1,475	
	単 価				1,475	
	*** B単ー 19号 ***					
000019	型枠用デッキプレート取付 H=1500, B=2300 (4.18m ² /97.64kg)		面		1,000	歩A 当たり算出
SO2116	デッキプレート フラットデッキ, t=1.2mm, ,	0.750	m ²	4,820	3,615	S単 12号
SO2116	デッキプレート フラットデッキ, t=1.6mm, ,	3.430	m ²	6,420	22,021	S単 13号
	合 計				25,636	
	単 価				25,636	
	*** B単ー 20号 ***					
000020	消波ブロック据付 底版ブロック, 9.4t/個		個		10,000	歩A 当たり算出
T00006	消波ブロック据付 7.5tを超え12.5t以下, クローラレン100t吊り	10.000	個	3,759	37,590	T単 6号
	合 計				37,590	
	単 価				3,759	
	*** B単ー 21号 ***					

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
000021	消波ブロック据付					歩A
	直立消波ブロック (標準型) , 14. 1t/個		個		10. 000	個 当たり算出
T00005	消波ブロック据付					
	12. 5tを超え22. 0t以下, クローラークレーン100t吊り	10. 000	個	4, 295	42, 950	T単 5号
	合 計				42, 950	
	単 価				4, 295	
	*** B単ー 22号 ***					
000022	消波ブロック据付					歩A
	直立消波ブロック (1/2型) , 7. 05t/個		個		10. 000	個 当たり算出
T00007	消波ブロック据付					
	4. 5tを超え7. 5t以下, クローラークレーン100t吊	10. 000	個	3, 490	34, 900	T単 7号
	合 計				34, 900	
	単 価				3, 490	
	*** B単ー 23号 ***					
000023	消波ブロック据付					歩A
	プレキャスト版 (標準型) , 2. 3t/個		個		10. 000	個 当たり算出
T00008	消波ブロック据付					
	4. 5t以下, クローラークレーン100t吊	10. 000	個	2, 684	26, 840	T単 8号
	合 計				26, 840	
	単 価				2, 684	
	*** B単ー 24号 ***					
000024	消波ブロック据付					歩A
	プレキャスト版 (1/2型) , 1. 15t/個		個		10. 000	個 当たり算出
T00008	消波ブロック据付					
	4. 5t以下, クローラークレーン100t吊	10. 000	個	2, 684	26, 840	T単 8号
	合 計				26, 840	
	単 価				2, 684	
	*** B単ー 25号 ***					
000025	大型土のう製作					歩A
	割栗石 (流用材)		袋		1. 000	袋 当たり算出
S18002	大型土のう工					
	製作, -, 現地土, 0m3, 大型土のう袋 (1. 0 t 用) , なし, なし	1. 000	袋	3, 476	3, 476	S単 26号
	合 計				3, 476	
	単 価				3, 476	
	*** B単ー 26号 ***					
000026	大型土のう設置					歩A
			袋		1. 000	袋 当たり算出
S18002	大型土のう工					
	設置, バック材, 0m3, 大型土のう袋 (1. 0 t 用) , なし, なし	1. 000	袋	1, 594	1, 594	S単 27号
	合 計				1, 594	
	単 価				1, 594	
	*** B単ー 27号 ***					
000027	大型土のう撤去					歩A
			袋		1. 000	袋 当たり算出
S18002	大型土のう工					
	撤去, バック材, 0m3, 大型土のう袋 (1. 0 t 用) , なし, なし	1. 000	袋	780	780	S単 28号
	合 計				780	
	単 価				780	
	*** B単ー 28号 ***					
000028	産業廃棄物処理					歩A
	廃プラスチック類		kg		700. 000	kg 当たり算出

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S16001	トラック[普通型] 1.5t積,, 運転1時間当たり算出	3.000	時間	5,631	16,893	S単 21号
S02123	建設廃材 廃プラスチック類	700.000	kg	55	38,500	S単 18号
	合 計				55,393	
	単 価				79	
	*** B単ー 29号 ***					
000029	産業廃棄物処理 汚泥		ton		0.790 ton	歩A 当たり算出
S16001	汚泥吸排車[トラック架装型] 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm,, 運転1時間当たり算出	3.000	時間	8,089	24,267	S単 22号
S02123	建設廃材 汚泥	0.790	ton	20,000	15,800	S単 19号
	合 計				40,067	
	単 価				50,718	
	*** B単ー 30号 ***					
000030	交通誘導警備員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
S02115	交通誘導警備員B	1.000	人	13,770	13,770	S単 7号
	合 計				13,770	
	単 価				13,770	
	*** B単ー 31号 ***					
000031	排水ポンプ設置撤去		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S18004	排水ポンプ設置撤去 1～5台,なし	1.000	箇所	85,964	85,964	S単 30号
	合 計				85,964	
	単 価				85,964	
	*** B単ー 32号 ***					
000032	排水ポンプ運転 30m3/h		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S18003	排水ポンプ運転 33,作業時排水,0以上～40未満,発動発電機,なし	1.000	箇所	370,419	370,419	S単 29号
	合 計				370,419	
	単 価				370,419	
	*** B単ー 33号 ***					
000033	濁水処理施設 処理能力30m3/h		日		1.000 日	歩A 当たり算出
S16002	濁水処理装置[ボータフル型・機械処理沈殿方式] ,処理能力30m3/h,交替制補正対象外,運転1日当たり算出	1.000	日	48,711	48,711	S単 24号
S02116	無機系凝集剤 排水処理用,ポリ塩化アルミニウム,,	120.000	kg	49	5,880	S単 14号
	合 計				54,591	
	単 価				54,591	
	*** B単ー 34号 ***					
000034	水質測定 水素イオン濃度 (pH) ,携帯用		回		1.000 回	歩A 当たり算出
S02111	pH計[携帯用] 測定範囲pH0～14	1.000	供用日	45	45	S単 1号
	合 計				45	
	単 価				45	

九州農政局

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1 工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02111	*** S単ー 1号 *** pH計[携帯用] pH計[携帯用] 測定範囲pH0～14		供用日	45		歩A・単A
S02112	*** S単ー 2号 *** クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラジジブ・低騒・排(2011)] クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラジジブ・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊		日	90,500		歩A・単A
S02115	*** S単ー 3号 *** とび工 とび工		人	27,030		歩A・単A
S02115	*** S単ー 4号 *** 普通作業員 普通作業員		人	20,706		歩A・単A
S02115	*** S単ー 5号 *** 土木一般世話役 土木一般世話役		人	28,968		歩A・単A
S02115	*** S単ー 6号 *** 運転手 (特殊) 運転手 (特殊)		人	24,786		歩A・単A
S02115	*** S単ー 7号 *** 交通誘導警備員B 交通誘導警備員B		人	13,770		歩A・単A
S02116	*** S単ー 8号 *** 軽油 軽油 バトラー給油,,		L	143		歩A・単A
S02116	*** S単ー 9号 *** 再生クラッシュヤラン 再生クラッシュヤラン ,RC-40 40～0mm,		m3	2,450		歩A・単A
S02116	*** S単ー 10号 *** ハット形鋼矢板 ハット形鋼矢板 SYW295 SP-25H 6m以上20m以下(500mmピッチ),,		ton	200,000		歩A・単A
S02116	*** S単ー 11号 *** 鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額 鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額 陸上渡し12m超18m以下,,		ton	7,000		歩A・単A
S02116	*** S単ー 12号 *** デッキプレート デッキプレート フラットデッキ,t=1.2mm,,		m ²	4,820		歩A・単A
S02116	*** S単ー 13号 *** デッキプレート デッキプレート フラットデッキ,t=1.6mm,,		m ²	6,420		歩A・単A
S02116	*** S単ー 14号 *** 無機系凝集剤 無機系凝集剤 排水処理用,ポリ塩化アルミニウム,,		kg	49		歩A・単A
S02116	*** S単ー 15号 *** 水質調査 水質調査 浮遊物質 (SS) ,,		検体	1,900		歩A・単A
S02116	*** S単ー 16号 *** 産業廃棄物処理税相当額 産業廃棄物処理税相当額		ton	1,000		歩A・単A
S02123	*** S単ー 17号 *** 建設廃材 建設廃材 鉄筋コンクリート廃材		m3	4,000		歩A・単A
S02123	*** S単ー 18号 *** 建設廃材 建設廃材 廃プラスチック類		kg	55		歩A・単A
S02123	*** S単ー 19号 *** 建設廃材 建設廃材 汚泥		ton	20,000		歩A・単A
S02721	*** S単ー 20号 *** 【構造物取壊し】 【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	16,020		歩A・単A
S16001	*** S単ー 21号 *** トラック[普通型] トラック[普通型] 1.5t積,,運転1時間当たり算出		時間	5,631		歩A・単A
S16001	*** S単ー 22号 *** 汚泥吸排車[トラック架装型]					

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1 工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	汚泥吸排車[トラック架装型] 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm, 運転1時間当たり算出 *** S単ー 23号 ***		時間	8,089		歩A・単A
S16002	パンプロバマ(単体)[電動式・可変モータ型] パンプロバマ(単体)[電動式・可変モータ型] , (ハット形900用) 起振力0～475kN 振動周波数17～20Hz, 交替制補正対象外, 運転1 日当たり算出		日	52,700		歩A・単A
S16002	*** S単ー 24号 *** 濁水処理装置[ボート型・機械処理沈殿方式] 濁水処理装置[ボート型・機械処理沈殿方式] , 処理能力30m3/h, 交替制補正対象外, 運転1日当たり算出 *** S単ー 25号 ***		日	48,711		歩A・単A
S16003	濁度計[携帯用] 濁度計[携帯用] 測定範囲0～400ppm, 交替制補正対象外 *** S単ー 26号 ***		供用日	919		歩A・単A
S18002	大型土のう工 大型土のう工 製作, -, 現地土, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし *** S単ー 27号 ***		袋	3,476		歩A・単A
S18002	大型土のう工 大型土のう工 設置, バックホ, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし *** S単ー 28号 ***		袋	1,594		歩A・単A
S18002	大型土のう工 大型土のう工 撤去, バックホ, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし *** S単ー 29号 ***		袋	780		歩A・単A
S18003	排水ポンプ運転 排水ポンプ運転 33, 作業時排水, 0以上～40未満, 発動発電機, なし *** S単ー 30号 ***		箇所	370,419		歩A・単A
S18004	排水ポンプ設置撤去 排水ポンプ設置撤去 1～5台, なし *** S単ー 31号 ***		箇所	85,964		歩A・単A
S19001	分解・組立・運搬費(重建設機械) 分解・組立・運搬費(重建設機械) クローラークレーン, 80 t 吊を超え150 t 吊以下, 運搬～組立～分解～運搬, 基地と現場の移 動, なし *** S単ー 32号 ***		台	2,529,330		歩A・単A
S86802	SP【被災地】積込(ルーズ) SP【被災地】積込(ルーズ) 破碎岩, 土量50,000m3未満 *** S単ー 33号 ***		m3	315.6		歩A・単A
S86803	SP【被災地】路体(築堤)盛土・埋戻 SP【被災地】路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満, -, -, なし *** S単ー 34号 ***		m3	968.2		歩A・単A
SA0103	SP 床掘り SP 床掘り 土砂, 標準, 無し, 無し, なし *** S単ー 35号 ***		m3	277.4		歩A・単A
SA0103	SP 床掘り SP 床掘り 岩塊・玉石, 標準, 無し, 無し, なし *** S単ー 36号 ***		m3	381		歩A・単A
SA0121	SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 標準, バックホ山積0.8m3(平積0.6m3), 硬岩, 無し, 1.5km以下 *** S単ー 37号 ***		m3	776.4		歩A・単A
SA0121	SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 標準, バックホ山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 1.5km以 下 *** S単ー 38号 ***		m3	547.3		歩A・単A
SA0221	SP 殻運搬 SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とこわし, 機械積込, 無し, 18.5km以下, *** S単ー 39号 ***		m3	3,009		歩A・単A
SA0269	SP 吸出し防止材(全面)設置 SP 吸出し防止材(全面)設置 - *** S単ー 40号 ***		m ²	1,647		歩A・単A
SA0301	SP 基礎碎石 SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下, 計上する, なし, 再生クラッシュラン RC-40 40～0mm *** T単ー 1号 ***		m ²	1,475		歩A・単A
T00001	消波ブロック転置 12.5tを超え22.0t以下, クローラークレーン100t吊り		個	3,220		歩A・単A

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その 1 工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S02111	pH計〔携帯用〕		供用日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	pH計〔携帯用〕 測定範囲pH0～14			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格	M96001 測定範囲pH0～14		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	45円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M96001	pH計〔携帯用〕 測定範囲pH0～14	1.000	供用日	45	45	
	合 計				45	算出数量 1.000 各単位
	単 価				45	
	*** S 単一 2号 ***					
S02112	クローラークレーン〔油圧駆動式ウィンチ・ラチェン・ブ・低騒・排(〃2011)〕		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	クローラークレーン〔油圧駆動式ウィンチ・ラチェン・ブ・低騒・排(〃2011)〕 吊上能力100t吊			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具賃料コード 2)機械器具規格	F01108 吊上能力100t吊		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	90,500円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
F01108	クローラークレーン〔油圧駆動式ウィンチ・ラチェン・ブ・低騒・排(〃2011)〕 吊上能力100t吊	1.000	日	90,500	90,500	
	合 計				90,500	算出数量 1.000 各単位
	単 価				90,500	
	*** S 単一 3号 ***					
S02115	とび工		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	とび工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01012 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01012	とび工	1.000	人	27,030	27,030	
	合 計				27,030	算出数量 1.000 人
	単 価				27,030	
	*** S 単一 4号 ***					
S02115	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
	合 計				20,706	算出数量 1.000 人
	単 価				20,706	
	*** S 単一 5号 ***					
S02115	土木一般世話役		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01001 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
	合 計				28,968	算出数量 1.000 人

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1 工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				28,968	
	*** S単- 6号 ***					
S02115	運転手 (特殊)		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	運転手 (特殊)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01021 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01021	運転手 (特殊)	1,000	人	24,786	24,786	
	合 計				24,786	算出数量 1,000 人
	単 価				24,786	
	*** S単- 7号 ***					
S02115	交通誘導警備員B		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01032 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01032	交通誘導警備員B	1,000	人	13,770	13,770	
	合 計				13,770	算出数量 1,000 人
	単 価				13,770	
	*** S単- 8号 ***					
S02116	軽油		L		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	軽油 バトロ-#給油,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P) 3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P34029		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P34029	軽油 バトロ-#給油	1,000	L	143	143	
	合 計				143	算出数量 1,000 各単位
	単 価				143	
	*** S単- 9号 ***					
S02116	再生クラッシュラン		m3		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	再生クラッシュラン ,RC-40 40~0mm,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P) 3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)	地区資材 (Jコード) J03118		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
J03118	再生クラッシュラン RC-40 40~0mm	1,000	m3	2,450	2,450	
	合 計				2,450	算出数量 1,000 各単位
	単 価				2,450	
	*** S単- 10号 ***					
S02116	ハット形鋼矢板		ton		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ハット形鋼矢板 SYW295 SP-25H 6m以上20m以下(500mmピッチ),,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P) 3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P18018		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その 1 工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P18018	ハット形鋼矢板 SYW295 SP-25H 6m以上20m以下(500mmピッチ)	1.000	ton	200,000	200,000	
	合 計				200,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				200,000	
	*** S単一 11号 ***					
S02116	鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額 陸上渡し12m超18m以下,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P18027		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P18027	鋼矢板 (広幅・ハット形含む) 地域エキストラ加算額 陸上渡し12m超18m以下	1.000	ton	7,000	7,000	
	合 計				7,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				7,000	
	*** S単一 12号 ***					
S02116	デッキプレート		m ²		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	デッキプレート フラットデッキ, t=1.2mm,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96002	デッキプレート フラットデッキ, t=1.2mm	1.000	m ²	4,820	4,820	
	合 計				4,820	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,820	
	*** S単一 13号 ***					
S02116	デッキプレート		m ²		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	デッキプレート フラットデッキ, t=1.6mm,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96003		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96003	デッキプレート フラットデッキ, t=1.6mm	1.000	m ²	6,420	6,420	
	合 計				6,420	算出数量 1.000 各単位
	単 価				6,420	
	*** S単一 14号 ***					
S02116	無機系凝集剤		kg		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	無機系凝集剤 排水処理用, ポリ塩化アルミニウム,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96009		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96009	無機系凝集剤 排水処理用, ポリ塩化アルミニウム	1.000	kg	49	49	
	合 計				49	算出数量 1.000 各単位
	単 価				49	
	*** S単一 15号 ***					
S02116	水質調査		検体		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	水質調査 浮游物質量 (SS) ,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1 工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1) 資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 地域資材単価コード (P)	P96008		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 地区資材単価コード (J)			深夜時間: 0.0	週休: 補正なし	
	4) 施設機械資材単価コード (K)					
P96008	水質調査					
	浮遊物質量 (SS)	1.000	検体	1,900	1,900	
	合 計				1,900	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,900	
	*** S単- 16号 ***					
S02116	産業廃棄物処理税相当額		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	産業廃棄物処理税相当額			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
				夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 地域資材単価コード (P)	P52004		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 地区資材単価コード (J)			深夜時間: 0.0	週休: 補正なし	
	4) 施設機械資材単価コード (K)					
P52004	産業廃棄物処理税相当額	1.000	ton	1,000	1,000	
	合 計				1,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,000	
	*** S単- 17号 ***					
S02123	建設廃材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	鉄筋コンクリート廃材			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード	P52002		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 資材規格	鉄筋コンクリート廃材		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	4,000円		深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
P52002	建設廃材					
	鉄筋コンクリート廃材	1.000	m3	4,000	4,000	
	合 計				4,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,000	
	*** S単- 18号 ***					
S02123	建設廃材		kg		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	廃プラスチック類			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード	P96004		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 資材規格	廃プラスチック類		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	55円		深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
P96004	建設廃材					
	廃プラスチック類	1.000	kg	55	55	
	合 計				55	算出数量 1.000 各単位
	単 価				55	
	*** S単- 19号 ***					
S02123	建設廃材		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	汚泥			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 地域資材単価コード	P96010		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 資材規格	汚泥		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 単価の入力	20,000円		深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
P96010	建設廃材					
	汚泥	1.000	ton	20,000	20,000	
	合 計				20,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				20,000	
	*** S単- 20号 ***					

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S02721	【構造物取壊し】 【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	1)作業区分 2)時間的制約	有筋 なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)施工区分Ⅰ 4)施工区分Ⅱ	機械 昼間施工		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)低騒音・低振動対策	しない		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
A73511	構造物とこわし工鉄筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	16,020	16,020	
	合 計				16,020	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		16,020	
	*** S単ー 21号 ***					
S16001	トラック[普通型]		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[普通型] 1.5t積,,運転1時間当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード《単位が時間のみ》 2)機械コード (同上)	M03081 M03081		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)機械損料算出区分 4)運転1日当たり運転時間(T)	運転1時間当たり算出 4.7時間		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.13				
	6)単価計上区分	機械損料等+燃料+運転労務				
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	8)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	9)燃料区分	軽油				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	— —				
M03081	トラック[普通型] 1.5t積	1.000	時間	539	539	
P34029	軽油 パトロール給油	2.500	L	143	358	
R01022	運転手 (一般)	0.210	人	22,542	4,734	
	合 計				5,631	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		5,631	
Y00001	単位					
	*** S単ー 22号 ***					
S16001	污泥吸排水[トラック架装型]		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	污泥吸排水[トラック架装型] 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm,,運転1時間当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード《単位が時間のみ》 2)機械コード (同上)	M10061 M10061		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)機械損料算出区分 4)運転1日当たり運転時間(T)	運転1時間当たり算出 6.7時間		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.33				
	6)単価計上区分	機械損料等+燃料+運転労務				
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	8)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	9)燃料区分	軽油				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	— —				
M10061	污泥吸排水[トラック架装型] 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm	1.000	時間	3,650	3,650	
P34029	軽油 パトロール給油	7.400	L	143	1,058	
R01022	運転手 (一般)	0.150	人	22,542	3,381	
	合 計				8,089	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		8,089	
Y00001	単位					

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 23号 ***					
S16002	ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾟﾑ(単体)〔電動式・可変ﾓｰﾓﾝﾄ型〕 ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾟﾑ(単体)〔電動式・可変ﾓｰﾓﾝﾄ型〕 , (ﾊｯﾄ形900用) 起振力0～475kN 振動周波数17-20Hz, 交替制補正対象外, 運転1日当たり算出		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	1) 機械コード《単位が日のみ》	M05056				
	2) 機械損料算出区分	運転1日当たり算出				
	3) 運転1日当たり運転時間(T)	0.0				
	4) 運転日に対する供用日の割合(YC)	1.00				
	5) 単価計上区分	機械損料のみ				
	8) 燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	9) 交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
M05056	ﾊﾞｲﾌﾟﾛﾊﾟﾑ(単体)〔電動式・可変ﾓｰﾓﾝﾄ型〕 (ﾊｯﾄ形900用) 起振力0～475kN 振動周波数17-20Hz	1.000	供用日	52,700	52,700	
	合 計				52,700	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		52,700	
Y00001	単位					
	*** S単ー 24号 ***					
S16002	濁水処理装置[ﾎﾞｰﾀﾌﾞﾙ型・機械処理沈殿方式] 濁水処理装置[ﾎﾞｰﾀﾌﾞﾙ型・機械処理沈殿方式] , 処理能力30m3/h, 交替制補正対象外, 運転1日当たり算出		日		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	1) 機械コード《単位が日のみ》	M12531				
	2) 機械損料算出区分	運転1日当たり算出				
	3) 運転1日当たり運転時間(T)	8.0				
	4) 運転日に対する供用日の割合(YC)	1.82				
	5) 単価計上区分	機械損料+燃料				
	6) 燃料区分	軽油				
	7) 燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	8) 燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	9) 交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
M12531	濁水処理装置[ﾎﾞｰﾀﾌﾞﾙ型・機械処理沈殿方式] 処理能力30m3/h	1.820	供用日	21,500	39,130	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	67.000	L	143	9,581	
	合 計				48,711	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		48,711	
Y00001	単位					
	*** S単ー 25号 ***					
S16003	濁度計〔携帯用〕 濁度計〔携帯用〕 測定範囲0～400ppm, 交替制補正対象外		供用日		1.000 供用日	歩A 当たり算出
	1) 機械コード《単位が供用日のみ》	M23191				
	2) 交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
M23191	濁度計〔携帯用〕 測定範囲0～400ppm	1.000	供用日	919	919	
	合 計				919	算出数量 1.000 供用日
	単 価		供用日		919	
	*** S単ー 26号 ***					
S18002	大型土のう工 大型土のう工 製作-, 現地土, 0m3, 大型土のう袋 (1.0 t 用), なし, なし		袋		1.000 日	歩A 当たり算出
	1) 施工区分	製作				
	2) 施工機械区分	-				
	3) 採取土区分	現地土				
	4) 購入土材単価(m3当たり)	0.000				
	5) 購入土材数量(m3/袋)	0.000m3				
	6) 大型土のう袋区分	大型土のう袋 (1.0 t 用)				
	7) 単価0円区分(大型土のう袋)	なし				
	8) 長期割引単価区分(賃料機械)	なし				

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
Y00004	諸雑費	0.070		74,256	5,198	
P37003	大型土のう袋	62.000	枚	1,100	68,200	
F08063	大型土のう袋 (1.0t用)	1.440	日	18,100	26,064	
	バックホ[クロー型・クレーン・超低・排対型(～2014)] 標準バケット容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t					
P34029	軽油	119.000	L	143	17,017	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合 計				215,521	算出数量 62.000 袋
	単 価		袋		3,476	
	*** S単一 27号 ***					
S18002	大型土のう工		袋		1.000 日	歩A 当たり算出
	大型土のう工 設置,バックホ,0m3,大型土のう袋 (1.0t用),なし,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	設置		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)施工機械区分	バックホ		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)購入土材単価(m3当たり)	0.000		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)購入土材数量(m3/袋)	0.000m3				
	6)大型土のう袋区分	大型土のう袋 (1.0t用)				
	7)単価0円区分(大型土のう袋)	なし				
	8)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
F08063	バックホ[クロー型・クレーン・超低・排対型(～2014)] 標準バケット容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.360	日	18,100	24,616	
P34029	軽油	94.000	L	143	13,442	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合 計				137,100	算出数量 86.000 袋
	単 価		袋		1,594	
	*** S単一 28号 ***					
S18002	大型土のう工		袋		1.000 日	歩A 当たり算出
	大型土のう工 撤去,バックホ,0m3,大型土のう袋 (1.0t用),なし,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	撤去		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)施工機械区分	バックホ		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)購入土材単価(m3当たり)	0.000		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)購入土材数量(m3/袋)	0.000m3				
	6)大型土のう袋区分	大型土のう袋 (1.0t用)				
	7)単価0円区分(大型土のう袋)	なし				
	8)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
F08063	バックホ[クロー型・クレーン・超低・排対型(～2014)] 標準バケット容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.260	日	18,100	22,806	
P34029	軽油	78.000	L	143	11,154	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合 計				112,296	算出数量 144.000 袋
	単 価		袋		780	
	*** S単一 29号 ***					

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S18003	排水ポンプ運転		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ運転 33. 作業時排水, 0以上～40未満, 発動発電機, なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 運転日数 2) 排水方法	33 作業時排水		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 排水量 (m ³ /h) 4) 動力区分	0以上～40未満 発動発電機		深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
	5) 長期割引単価区分 (賃料機械)	なし				
F05041	工事用水中ポンプ (潜水ポンプ) 口径150mm	39.600	日	632	25,027	
F02055	発動発電機 [D 駆動・～超低・排対型 (～3次)] 25kVA	39.600	日	2,960	117,216	
P34029	軽油 バトロール給油	726.000	L	143	103,818	
R01002	特殊作業員	4.620	人	24,582	113,569	
Y00004	諸雑費	0.030		359,630	10,789	
	合 計				370,419	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		370,419	
	*** S 単 - 30号 ***					
S18004	排水ポンプ設置撤去		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ設置撤去 1～5台, なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) ポンプ台区区分 2) 長期割引単価区分 (賃料機械)	1～5台 なし		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
F08063	バックホ [クローラ型・クレーン・～超低・排対型 (～2014)] 標準バケット容量 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	0.580	日	18,100	10,498	
R01001	土木一般世話役	0.500	人	28,968	14,484	
R01002	特殊作業員	0.100	人	24,582	2,458	
R01003	普通作業員	2.000	人	20,706	41,412	
P34029	軽油 バトロール給油	33.000	L	143	4,719	
R01021	運転手 (特殊)	0.500	人	24,786	12,393	
	合 計				85,964	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		85,964	
	*** S 単 - 31号 ***					
S19001	分解・組立・運搬費 (重建設機械)		台		1.000 台	歩A 当たり算出
	分解・組立・運搬費 (重建設機械) クローラークレーン, 80 t 吊を超え150 t 吊以下, 運搬～組立～分解～運搬, 基地 と現場の移動, , なし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 機械区分 2) 規格区分 3) 移動区分 4) 計上範囲 5) 長期割引単価区分 (賃料機械)	クローラークレーン 80 t 吊を超え150 t 吊以下 基地と現場の移動 運搬～組立～分解～運搬 なし		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0	週休: 4週8休以上	
R01002	特殊作業員	11.300	人	24,582	277,777	
F01091	ラフレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・～低騒・排対型 (～2次)] 吊上能力60t 吊	3.100	日	107,000	331,700	
Y00004	運搬費等	3.150		609,477	1,919,853	
	合 計				2,529,330	算出数量 1.000 台
	単 価		台		2,529,330	
	*** S 単 - 32号 ***					
S86802	SP 【被災地】積込 (ルーズ)		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 【被災地】積込 (ルーズ) 破碎岩, 土量50.000m ³ 未満			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)作業内容	破碎岩 土量50,000m3未満				
	単 価		m3		315.6	
	*** S単ー 33号 ***					
S86803	SP【被災地】路体（築堤）盛土・埋戻		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP【被災地】路体（築堤）盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満,-,-,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)施工幅員 2)施工数量	2.5m以上4.0m未満 -				
	3)障害の有無 4)長期割引単価区分	- なし				
	単 価		m3		968.2	
	*** S単ー 34号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,標準,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 標準				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	無し 無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		277.4	
	*** S単ー 35号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 岩塊・玉石,標準,無し,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	岩塊・玉石 標準				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	無し 無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		381	
	*** S単ー 36号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞﾝﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),硬岩,無し,1.5km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格	標準 ﾊﾞｯｸﾎﾞﾝﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3)				
	3)土質 4)DID区間の有無	硬岩 無し				
	5)運搬距離	1.5km以下				
	単 価		m3		776.4	

[illegible]

九州農政局

事業名	玉名横島海岸保全事業
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	消波ブロック転置		個		10,000	歩A 当たり算出
	12.5tを超え22.0t以下,クローラークレーン100t吊り					
S02112	クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.168	日	90,500	15,204	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	14.100	L	143	2,016	S単 8号
S02115	とび工	0.168	人	27,030	4,541	S単 3号
S02115	普通作業員	0.504	人	20,706	10,436	S単 4号
	合 計				32,197	算出数量 10,000 個
	単 価		個		3,220	
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	消波ブロック転置		個		10,000	歩A 当たり算出
	7.5tを超え12.5t以下,クローラークレーン100t吊り					
S02112	クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.147	日	90,500	13,304	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	12.400	L	143	1,773	S単 8号
S02115	とび工	0.147	人	27,030	3,973	S単 3号
S02115	普通作業員	0.442	人	20,706	9,152	S単 4号
	合 計				28,202	算出数量 10,000 個
	単 価		個		2,820	
	*** T単ー 3号 ***					
T00003	消波ブロック転置		個		10,000	歩A 当たり算出
	4.5tを超え7.5t以下,クローラークレーン100t吊					
S02112	クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.137	日	90,500	12,399	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	11.500	L	143	1,645	S単 8号
S02115	とび工	0.137	人	27,030	3,703	S単 3号
S02115	普通作業員	0.410	人	20,706	8,489	S単 4号
	合 計				26,236	算出数量 10,000 個
	単 価		個		2,624	
	*** T単ー 4号 ***					
T00004	消波ブロック転置		個		10,000	歩A 当たり算出
	4.5t以下,クローラークレーン100t吊					
S02112	クローラークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.105	日	90,500	9,503	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	8.800	L	143	1,258	S単 8号
S02115	とび工	0.105	人	27,030	2,838	S単 3号
S02115	普通作業員	0.315	人	20,706	6,522	S単 4号
	合 計				20,121	算出数量 10,000 個
	単 価		個		2,012	
	*** T単ー 5号 ***					
T00005	消波ブロック据付		個		10,000	歩A 当たり算出
	12.5tを超え22.0t以下,クローラークレーン100t吊り					

事業名	玉名横島海岸保全事業				
工事名	横島荷揚場施設整備その1工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S02112	クロークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.224	日	90,500	20,272	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	18.800	L	143	2,688	S単 8号
S02115	とび工	0.224	人	27,030	6,055	S単 3号
S02115	普通作業員	0.673	人	20,706	13,935	S単 4号
	合 計				42,950	算出数量 10.000 個
	単 価		個		4,295	
	*** T単- 6号 ***					
T00006	消波ブロック据付		個		10.000 個	歩A 当たり算出
	7.5tを超え12.5t以下,クロークレーン100t吊り					
S02112	クロークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.196	日	90,500	17,738	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	16.500	L	143	2,360	S単 8号
S02115	とび工	0.196	人	27,030	5,298	S単 3号
S02115	普通作業員	0.589	人	20,706	12,196	S単 4号
	合 計				37,592	算出数量 10.000 個
	単 価		個		3,759	
	*** T単- 7号 ***					
T00007	消波ブロック据付		個		10.000 個	歩A 当たり算出
	4.5tを超え7.5t以下,クロークレーン100t吊					
S02112	クロークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.182	日	90,500	16,471	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	15.300	L	143	2,188	S単 8号
S02115	とび工	0.182	人	27,030	4,919	S単 3号
S02115	普通作業員	0.547	人	20,706	11,326	S単 4号
	合 計				34,904	算出数量 10.000 個
	単 価		個		3,490	
	*** T単- 8号 ***					
T00008	消波ブロック据付		個		10.000 個	歩A 当たり算出
	4.5t以下,クロークレーン100t吊					
S02112	クロークレーン[油圧駆動式ウィンチ・ラチェット・低騒・排(2011)] 吊上能力100t吊	0.140	日	90,500	12,670	S単 2号
S02116	軽油 バトロ-給油,,	11.800	L	143	1,687	S単 8号
S02115	とび工	0.140	人	27,030	3,784	S単 3号
S02115	普通作業員	0.420	人	20,706	8,697	S単 4号
	合 計				26,838	算出数量 10.000 個
	単 価		個		2,684	
	*** T単- 9号 ***					
T00009	バ-イ-ロ-バ-工 (ハット形鋼矢板打設)		枚		10.000 枚	歩A 当たり算出
	電動式,12m以下,60kW(ハット形鋼矢板用),ハット形25H					
S02115	土木一般世話役	0.500	人	28,968	14,484	S単 5号
S02115	とび工	1.000	人	27,030	27,030	S単 3号
S02115	普通作業員	0.500	人	20,706	10,353	S単 4号

九州農政局

令和 6 年度 玉名横島海岸保全事業

横島荷揚場施設整備その 1 工事

特 別 仕 様 書

九州農政局玉名横島海岸保全事業所

第1章 総則

令和6年度 玉名横島海岸保全事業横島荷揚場施設整備その1工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、玉名横島海岸保全事業に基づく横島荷揚場施設整備等を実施するものである。

2. 工事場所

熊本県玉名市横島町共栄地先

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| (1) 横島荷揚場施設撤去工 | $V = 2,970 \text{ m}^3$ |
| (2) 矢板工（ハット型 25H, H=13.0m） | $L = 81.9 \text{ m}$ |
| (3) 直立消波ブロック据付工 | $N = 59 \text{ 個}$ |

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者等の確保などが図られる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている165日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確認していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設

物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和7年2月20日（工事完了期限日）まで

※ 工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

2. CORINSへの登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意する。

3. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等53日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始休暇を含んでいる。

4. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、上記の工事を施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

6. 現場技術員

本工事は、共通仕様書第1編1-1-9に規定している現場技術員を配置する。

氏名については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事場所の土質は、砂質土、粘質土及び礫質土を想定している。

2. 潮位及び水位

本地区の潮位及び管理水位は、次のとおりである。

(潮位)

設計高潮位	(H. H. W. L.) : T. P(+)	3. 30m
朔望平均満潮位	(H. W. L.) : T. P(+)	2. 28m
平均水位	(M. S. L.) : T. P(+)	0. 025m
朔望平均干潮位	(L. W. L.) : T. P(-)	2. 47m
低極潮位 (既往最低)	(L. L. W. L.) : T. P(-)	3. 05m

3. 関連工事

本工事に関連して次に示す工事を実施しているので、監督職員及び関連する工事責任者と十分連絡、打合せを行い、工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

令和5年度 玉名横島海岸保全事業

消波施設基礎設置 (第二工区1) 工事

(施工時期 令和6年3月14日 ~ 令和6年9月24日)

令和5年度 玉名横島海岸保全事業

大浜荷揚場施設撤去他その3工事

(施工時期 令和6年3月14日 ~ 令和6年10月9日)

4. 隣接地に対する措置

(1) 周辺農地では営農が行われているので、営農に支障がないよう配慮しなければならない。

(2) 本工事範囲及び周辺部の既設構造物については、工事着手前及び施工期間中、定期的に位置・高さ等を測定し、写真とともに記録するものとする。

また、構造物に影響が生じると想定される場合又は異常を発見した場合は、直ちに作業を中止し、応急措置を行うとともに監督職員に報告し、事務処理について協議しなければならない。

5. 第三者に対する措置

(1) 現場搬入路等

1) 工事用資機材等の搬入搬出に使用する公道の利用に当たっては、交通規則を遵守するとともに一般の通行に支障をきたさないよう安全を確保するものとする。

なお、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要と思われる場合は監督職員と協議しなければならない。

また、受注者は運搬経路等を含む工事用機材計画を作成し監督職員に提出しなければならない。

2) 国道 501 号から工事場所へ至る搬入経路については、図面に示す経路とするが、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。

なお、通行にあたっては朝の通学時間を避け、民家が隣接する箇所は徐行すると

ともに地元車輛を優先し、十分に安全を確保できる速度で走行しなければならない。

(2) 環境保全

1) 工事に使用する作業機械等から発生した廃油等は「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律」に基づき、適切な措置をとらなければならない。

2) 工事資材等が海中に落下しないよう、必要な措置を講じるものとする。

また、工事の廃材、残材等を海中及び地区内に投棄してはならない。

海中に落下物が生じた場合は監督職員に報告するとともに、自らの負担と責任で撤去し、処理しなければならない。

3) 横島荷揚場施設撤去に伴い埋立土等の濁りが海に広がらないよう、注意して施工しなければならない。

(3) 濁水処理対策

1) 本工事の施工に伴い発生する汚濁水は沈殿槽を設置し、適正な処理を行ったのち、所定の排水基準を満足させた後、海に排水しなければならない。

また、発生する汚濁水は、水素イオン濃度の基準値内と想定しているが、基準を満たさない場合は、対策方法について監督職員と協議しなければならない。

2) 受注者は濁水処理施設の施工に先立ち、濁水処理計画書等を作成し、監督職員の承諾を得なければならない。

3) 処理後の排水基準は、次の値とする。

・水素イオン濃度 (pH) 5.0 以上 9.0 以下

・浮遊物質量 (SS) 200mg/L 以下

4) 受注者は、次のとおり水質調査を行わなければならない。ただし、水質の状況によっては、調査項目・調査頻度を変更することがある。

調査項目		調査頻度	備考
pH 値	処理前	1 回	調査期間は、直立消波ブロック据付関係工事期間中とする。
	処理後	毎日 1 回	
濁度	処理前	1 回	※SS 値の測定は JIS K 0102 に基づいて実施する。なお、濁度との相関関係が明確になった時点で中止する。
	処理後	毎日 1 回	
SS 値	処理前	1 回	
	処理後	毎週 1 回	

5) 排水基準に定める浮遊物質量 (SS) の管理は、濁度との相関関係を明確にした以降は、濁度の数値をもって管理するものとする。

6) 測定結果に異常値が出た場合には、その都度監督職員に報告し、その処理について協議しなければならない。

(4) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習または、基本教育及び業務別教育を受けた者）であって、専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更等に伴い員数に増減

が生じた場合は設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

また、交通誘導警備員は、関連工事と共用する場合があるので、関連工事の責任者と工程等について十分に調整しなければならない。

配置場所 (位置図明示)	交通誘導 警備員	編成	昼夜別	配置予定期間	交代要員の有無
交通誘導警備員 1 配置箇所	1 名／日	1 名	昼間	資材搬入時	無
交通誘導警備員 2 配置箇所	1 名／日	1 名	昼間	資材搬入時	無

6. 関係機関との調整

地元関係者との工事調整は発注者にて行っているが、詳細については地元関係者と打ち合わせるものとする。

第5章 指定仮設

1. 石材取場及び建設発生土受入地

(1) 石材取場

1) 石材取場は、図面に示す箇所とし、その名称、採取予定量は次のとおりである。

名 称	所 在 地	採取予定量	摘 要
石材取場 1	玉名市横島町共栄地内	520m ³	捨石
石材取場 2	玉名市横島町共栄地内	480m ³	割栗石

(2) 建設発生土受入地

1) 建設発生土受入地は、図面に示す箇所とし、その名称、搬出予定量は、次のとおりである。

名 称	所 在 地	搬出予定量	摘 要
建設発生土受入地 1	玉名市横島町共栄地内	2,840m ³	土砂

2. 水替工

工事現場内における排水量は、次のとおり想定している。

直接消波ブロック敷設箇所：Q_{max}=30m³/h

第6章 工事用地等

工事用地及び工事施工上必要な用地は発注者で確保しているが、詳細は別に通知する。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) 鋼材

- 1) 鋼矢板 JIS A 5523 SYW295 ハット型 25H

(2) 砕石

- 1) 再生クラッシャーラン RC-40

(3) その他

- 1) 浸食防止シート t=5mm 沈降性

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
鋼材	試験成績書
骨材	試験成績書
シート類	試験成績書・カタログ

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

なお、その他の材料は、受注者の自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が提出を指示した場合、これに応じなければならない。

材 料 名	検査及び試験項目	備 考
鋼材	寸法及び外観検査	抽出
シート類	寸法及び外観検査	抽出

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点及び水準点は、図面「位置図」に示す（基-4）、（基-5）、（基-6）を使用しなければならない。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

- 1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

- 2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期・頻度 (一般監督)	備考
矢板工	基準高、中心線のズレ	初期施工段階で1箇所	

(3) 中間技術検査

- 1) 発注者から低入札価格調査制度における調査対象工事として、中間技術検査を実施する旨、通知を受けた場合は従わなければならない。
- 2) 中間技術検査を受ける場合、あらかじめ監督職員から指示する出来形図及び出来形数量内訳書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。
- 3) 契約図書により義務づけられた工事記録写真、出来形管理資料、出来形図及び工事報告書等の資料を整備し、中間技術検査を命ぜられた職員（以下「技術検査職員」という。）から提示を求められた場合は従わなければならない。
- 4) 技術検査職員から修補を求められた場合は従わなければならない。
- 5) 中間技術検査及び修補に要する費用は、受注者の負担とする。

(4) 施工一般

- 1) 本工事の基礎地盤は、非常に軟弱な地盤であることから、施工に当たっては十分留意し施工するものとする。
なお、施工途中において堤防及び周辺地盤に異常が認められた場合は、施工を中止して速やかに監督職員と協議しなければならない。
- 2) 監督職員の確認を受けた後、基礎地盤の沈下に起因して出来形（標高）に不足が生じた場合は、その不足部分について受注者の責としない。

2. 再生資源等の利用

(1) 再生資源の利用

受注者は、次に示す再生資源を利用しなければならない。

資 材 名	規 格	備 考
再生クラッシャーラン	RC-40	

(2) 建設資材廃棄物等の現場内利用

受注者は、本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等について、本現場内で利用可能か検討し、その利用方法等について監督職員と協議しなければならない。

なお、分別の徹底及び、適切な保管を行うものとする。

(2) 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物等	処理施設名	住 所	受入時間	事業区分
廃プラスチック	大東商事（株）	熊本県熊本市西区 新港 1-4-22	8 時 15 分～ 17 時	中間処理施設
コンクリート殻 （鉄筋）	有明アスコン （株）	熊本県玉名市岱明 町西照寺 893	8 時～17 時	中間処理施設
汚泥	（公財）熊本県 環境整備事業団	熊本県玉名郡南関 町下坂下 4771-3	9 時～11 時 45 分 13 時～16 時	最終処分施設

3. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属の工事 ☐ 有 ■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 （構造物撤去工）	その他の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ■手作業・機械作業の併用

4. 土工

（1）床掘り

- 1）床掘りにより発生した土砂及び捨石は、構造物の埋戻し等に流用するもののほか全て建設発生土受入地へ搬出しなければならない。
- 2）床掘りに当たっては、法面の崩落に十分注意して施工しなければならない。
- 3）床掘りで過掘りとなった部分は、良質土で埋戻さなければならない。

5. 矢板工

（1）鋼矢板の打設は、バイブロハンマ工法による施工を想定している。

なお、事前に打込み方法及び機械の配置等を記載した詳細な施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

（2）鋼矢板の打ち込み時に矢板の基準高が確認できるよう打設箇所の床掘を行うとともに支障となる捨石の撤去を行わなければならない。

なお、捨石の撤去箇所は、打設完了後、現地土で埋め戻すものとする。

（3）鋼矢板の打ち込みに際しては、既設構造物に損傷を与えないように施工しなければならない。

- (4) 地盤が想定外の状況により、打込みが極端に困難となった場合や共下りが発生するなど打止りの悪い場合は、監督職員と協議しなければならない。
- (5) 周辺地盤に異常が発生又はその恐れがある場合は、速やかに安全のための措置を講じるとともに監督職員に報告しなければならない。

6. 基礎工

(1) 砕石基礎

砕石基礎の締固めは、十分に締め固めなければならない。

7. 直立消波ブロック工

- (1) 直立消波ブロックは、別添図面に示す箇所から使用するものとする。
- (2) 受注者は施工に先立ち、消波ブロックの据付時期及び据付形状を監督職員に報告するものとする。
- (3) 受注者は直立消波ブロック据付に先立ち、気象及び海象をあらかじめ十分調査し、適切な時期を選定し、注意して施工するとともに、施工に伴う災害対策について十分に行うものとする。
また、端部については、事前にデッキプレートを設置するものとする。
- (4) 直立消波ブロック相互のかみ合わせに留意し、不安定な状態が生じないように施工するものとする。
- (5) 直立消波ブロック相互間に、間詰石や転落石のはまり込みがないよう施工するものとする。

第10章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という)は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」(※)に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)

）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黑板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黑板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黑板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」（※）及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記１）に示す黑板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ３）黑板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黑板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黑板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黑板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黑板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第11章 情報化施工技術の活用について

１．適用

本工事は、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）に基づき、情報通信技術の活用により生産性及び施工品質の向上を図るため、受注者の発議により、土工に関する起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理等の施工管理及びデータ納品の全て又は一部において、情報化施工技術を活用する「情報化施工技術活用工事」の対象工事（受注者希望型）である。

２．協議・報告

受注者は、情報化施工技術の活用を希望する場合は、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による変更施工計画書の提出を含む。）までに発注者へ協議を

行い、協議が整った場合、実施内容等について施行計画書に記載するものとする。

なお、情報化施工技術の活用を希望しない場合は、その旨監督職員に報告するものとする。

3. 使用する機器・ソフトウェア

情報化施工技術を活用するに当たり使用する機器及びソフトウェアは、受注者が調達すること、また、施工に必要な施工データは、受注者が作成するものとする。使用する機器、ソフトウェア及びファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

4. 貸与資料

基本設計データ及び3次元設計データの作成に必要な貸与資料は、下表のとおりである。このほか、必要な資料がある場合は、監督職員に報告し貸与を受けるものとする。

なお、貸与を受けた資料については、工事完成時までに監督職員へ返却しなければならない。

	貸与資料	備 考
1	図面のCADデータ	

5. 確認及び検査

受注者は、監督職員が行う施工段階確認等や検査職員が行う完成検査等において、施工管理データが組み込まれた出来形管理用T S等光波方式等を準備しなければならない。

6. 電子納品

受注者は、情報化施工技術に係る資料について、「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき、提出しなければならない。

7. 情報化施工技術の活用工事の費用

- (1) 情報化施工技術の活用に要する費用については設計変更の対象とし、「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき計上することとする。
- (2) 受注者は、発注者から依頼する歩掛、経費等の見積書提出に協力しなければならない。また、発注者の指示により歩掛調査等の調査を実施する場合には協力しなければならない。

第12章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に表示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

1. 土質及び地質条件等による変更がある場合
2. 第三者との協議によるもの
3. 関連工事との調整により設計変更が生じた場合
4. 関係機関等との協議によるもの
5. 遠隔確認の試行を行う場合
6. 気象条件に伴い作業が生じた場合
7. その他

第13章 その他

1. 契約後V E提案

(1) 定 義

「V E提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) V E提案の範囲

- ① V E提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- ② ただし、次の提案は、V E提案の範囲に含めないものとする。
 - ア) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - イ) 工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ウ) 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) V E提案書の提出

- ① 受注者は、V E提案を行う場合は、次に掲げる事項を別途示すV E提案書（共通仕様書 様式6－1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ア) 設計図書に定める内容とV E提案の内容の対比及び提案理由
 - イ) V E提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ウ) V E提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - エ) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - オ) 工業所有権を含むV E提案である場合、その取扱に関する事項
 - カ) その他V E提案が採用された場合に留意すべき事項
- ② 発注者は、提出されたV E提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- ③ 受注者は、V E提案を契約締結の日より、当該V E提案に係る部分の施工に着

手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。

- ④ V E 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) V E 提案の適否等

- ① 発注者は、V E 提案の採否について、原則として、V E 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書 様式 6－5）により通知するものとする。
ただし、その期間内に通知できないやむをえない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
- ② また、V E 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- ③ V E 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- ④ 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る乙の提案）の規定に基づくものとする。
- ⑤ 発注者は、V E 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- ⑥ 前項の変更を行う場合においては、V E 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する額（以下「V E 管理費」という）を削減しないものとする。
- ⑦ V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者が V E 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- ⑧ 発注者は、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。V E 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記⑥の V E 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) V E 提案書の使用

発注者は、V E 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容を無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者が V E 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、V E 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R 又は BD-R） 正副2部

3. 主任技術者等の専任期間

- (1) 請負契約の締結後から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
- (2) 契約締結の日から工事着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確した場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
- (3) 工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確した場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

4. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前中に協議が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項及び「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時及び新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）監督員が、現場条件、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

とする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部及び事業所長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人及び監督職員の協議により定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長（議長）、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記6.（1）、（2）、（3）及び（4）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に限らず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

6. 週休2日による施工

(1) 本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。

受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

(2) 「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

1) 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏期休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

- 2) 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- 3) 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (3) 週休2日(4週8休以上)の実施の確認方法は、次によるものとする。
- 1) 受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
 - 2) 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
 - 3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
 - 4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記2)の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
 - 5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。
- (4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費(賃料)、共通仮設費(率分)、現場管理費(率分)を補正し設計変更を行うものとする。
- 1) 補正係数

	4週8休以上 〔現場閉所率 28.5% (8日/28日) 以上〕
労務費	1.02
機械経費(賃料)	1.02
共通仮設費(率分)	1.02
現場管理費(率分)	1.05

2) 補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記1)に示す補正係数による補正を行わず減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領(模範例)の制定について」(平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。)

別紙 8（事業（務）所長用）に示す、「7. 法廷遵守等」において、点数 10 点を減ずるものとする。

- （6）週休 2 日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価による積算にあたっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

名称	区分	補正係数
		4 週 8 休以上
構造物とりこわし工	機械	1. 02

- （7）週休 2 日制の促進

- 1）本工事は、週休 2 日制を促進するため、現場閉所状況に応じて「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成 15 年 2 月 19 日付け 14 地第 759 号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休 2 日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- 2）発注者は、現場閉所状況が月単位で 4 週 8 休以上（現場閉所率 28.5%（8 日／28 日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定に基づく工事成績の合計は 100 点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評定の点数を 10 点減ずることとする。なお、加点評価にあたっては、以下のとおりとする。
 - ①他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙 5 に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大 2 点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて 1 点、2 点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- ②現場閉所による月単位の週休 2 日相当（4 週 8 休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙 3－1 に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の 2 つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、月単位の週休 2 日に満たない場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
- ☐ その他 [理由：現場閉所により月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）の確保を行った。]

○事業（務）所長用

☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。

☐ その他〔理由：現場閉所により月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- ③現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内のすべての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で、1点を加点評価する。

○事業（務）所長用

☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに、すべての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- 3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

7. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの使用を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

ア 洋式（洋風）便座

イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

ウ 臭い逆流防止機能

エ 容易に開かない施錠機能

オ 照明設備

カ 衣装掛け等のフック付又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

ケ サニタリーボックス

コ 鍵と洗面器

サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

シ 便房内寸法 900×900mm以上（面積ではない）

ス 擬音装置（機能を含む）

- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

（２）快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事より多く設置する場合や積算上限を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

（３）快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議のうえ、本項の対象外とする。

８．熱中症対策に資する現場管理費の補正

（１）本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

（２）用語の具体的な内容は次のとおりである。

ア 真夏日

日最高気温が 30℃以上の日をいう。

イ 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

ウ 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$

（３）受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。

（４）気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが 25℃以上となる日を真夏日と見なす。

ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所

以外の気象観測所で気象業務法（昭和27 年法律第165 号）に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

（5）受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。

（6）発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値（\%）} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数}^{\ast}$$

※補正係数：1.2

9. 労働者確保に要する間接費の設計変更について

（1）本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土地改良事業等請負工事積算基準（以下「積算基準」という。）の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

営 繕 費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

（2）受注者から請負代金内訳書の提出があった後、発注者は共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。

（3）受注者は、当初契約締結後、前項で示された割合を参考にして実績変更対象費に係る費用の内訳を記載した実施計画書（様式1）を作成し、監督職員に提出するものとする。

（4）最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、変更実施計画書（様式2）及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

（5）受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

（6）実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式1）に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。また、現場管理費は、積算基準に基づく算出額から実施計画書（様式1）に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

（7）受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指

名停止等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

11. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

- （１）本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払いに伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。
- （２）受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

12. １日未満で完了する作業の積算

- （１）本工事における１日未満で完了する作業の積算（以下、「１日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- （２）受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、１日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- （３）同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて１日未満となる場合には、１日未満積算基準は適用しない。
- （４）受注者が、協議に当たって、１日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、１日未満積算基準は適用しない。
- （５）災害復旧工事等で人工積算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、１日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、１日未満積算基準を適用しない。

13. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- （１）本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
 - ・運搬費：建設機械の運搬
 - ・準備費：伐開・除根・除草費
- （２）発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- （３）受注者は、（２）により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- （４）受注者は、最終精算変更時点において、実績変更対象経費に関する内訳書（様式４）（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- （５）受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。

- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準に基づき算出した額」から「内訳書に記載された共通仮設費（率分）の合計額」を差し引いた後、「(4) の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

14. 建設副産物の取扱に係る補足

(1) 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

(2) 再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土砂の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壤汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見えやすい場所に掲げなければならない。

(3) 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と「(2) 再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等」で行った確認結果を委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

(4) 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

第14章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

(様式1)

工期通知書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(分任) 支出負担行為担当官

〇〇 〇〇 様

住所

商号又は名称

氏名

印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇 〇 〇 〇 工 事
工 事 場 所	〇 〇 県 〇 〇 市 〇 〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。

※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

実績変更対象費に関する実施計画書

費 目		費 用	内 容	計上額
共 通 仮 設 費	営繕費	借上費	現場事務所、試験室、労働者 宿舎、倉庫、材料保管場所等 の敷地借上げに要する地代及 びこれらの建物を建築する代わ りに貸しビル、マンション、民家 等を長期借上げする場合に要 する費用	
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿 泊する場合に要する費用	
		労働者送 迎費	労働者をマイクロバス等で日々 当該現場に送迎輸送（水上輸 送を含む）をするために要する 費用（運転手賃金、車両損料、 燃料費等含む）	
	小 計			
現 場 管 理 費	労 務 管 理 費	募集及び 解散に要 する費用	労働者の赴任手当、労働者の 帰省旅費、労働者の帰省手当	
		賃金以外 の食 事、 通勤等に 要する費 用	労働者の食事補助、交通費の 支給	
	小 計			
合 計				

実績変更対象費に関する変更実施計画書

費 目		費 用	内 容	計上額 (当初)	計上額 (変更)	差額
共 通 仮 設 費	営 繕 費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用			
		宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊する場合に要する費用			
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送(水上輸送を含む)をするために要する費用(運転手賃金、車両損料、燃料費等含む)			
	小 計					
現 場 管 理 費	労 務 管 理 費	募集及び解散に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費、労働者の帰省手当			
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給			
	小 計					
合 計						

(様式4)

実績変更対象経費に関する内訳書

費目		費用	内容	計上額
共通仮設費	運搬費	建設機械の運搬費	建設機械の運搬等に要する費用	
	準備費	抜開・除根・除草費	準備作業に伴う伐開、除根、除草作業に要する費用	
合 計				

令和 6 年度

玉名横島海岸保全事業
横島荷揚場施設整備その 1 工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 直立消波ブロック移動				「概」と表示しているものは概算数量発注による数量
(1) 直立消波ブロック移動				
消波ブロック移動	底版ブロック, 9.4t/個	個	25	
消波ブロック移動	直立消波ブロック（標準型）, 14.1t/個	個	41	
消波ブロック移動	直立消波ブロック（1/2型）, 7.05t/個	個	18	
消波ブロック移動	プレキャスト版（標準型）, 2.3t/個	個	41	
消波ブロック移動	プレキャスト版（1/2型）, 1.15t/個	個	18	
2. 構造物撤去工				
(1) 構造物撤去工				
構造物取壊し	鉄筋コンクリート	m3	117	「概」
(2) 産業廃棄物処理				
産業廃棄物処理	鉄筋コンクリート	m3	117	「概」
3. 土工				
(1) 土工				
床掘		式	1	
盛土	掘削土流用	m3	80	「概」
基礎捨石（流用）	10～200kg, 掘削土流用	m3	41	「概」
基礎捨石（流用）	10～200kg, 流用材（石材取場1）	m3	476	「概」
裏込栗石（流用）	5～15cm/個, 流用材（石材取場2）	m3	480	「概」
間詰工	RC-40, t=10cm	m3	18	「概」
浸食防止シート	t=5mm, 港湾用防砂シート（沈降性）	m ²	850	「概」
(2) 作業残土処理				
建設発生土搬出（建設発生土受入地）	砂質土	m3	2,840	「概」
4. 矢板工				

工 事 数 量 表

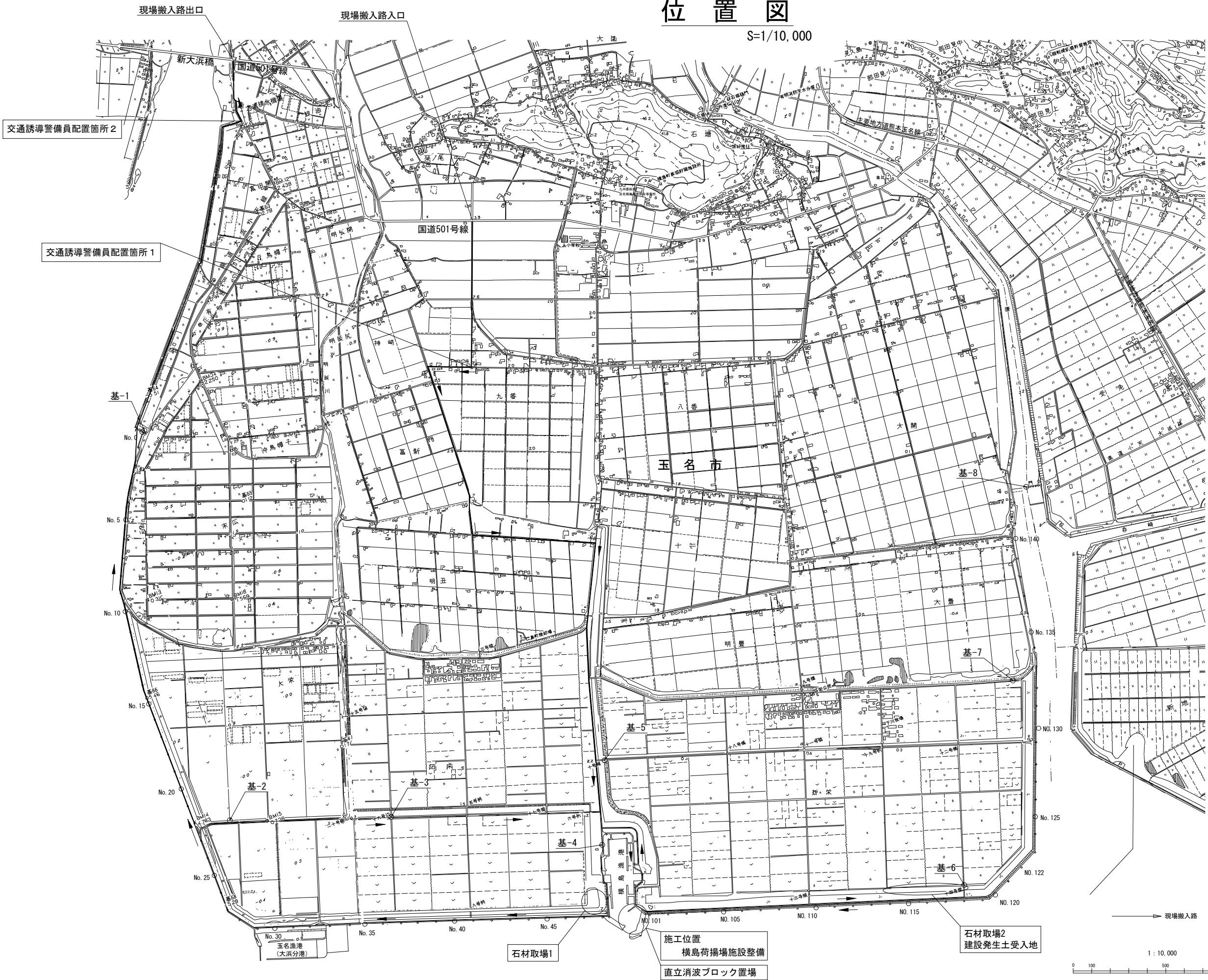
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(1)鋼矢板打設				
鋼矢板打設	ハット形25H, L=13.0m, 打設長11.0m, ハイブローハンマ工法	枚	91	
5. 直立消波ブロック据付工				
(1)消波ブロック基礎				
基礎砕石	t=150mm	m ²	233	「概」
(2)型枠取付				
型枠用デッキプレート取付	H=1500, B=2300(4.18m ² /97.64kg)	面	8	
(3)直立消波ブロック据付				
消波ブロック据付	底版ブロック, 9.4t/個	個	25	
消波ブロック据付	直立消波ブロック（標準型）, 14.1t/個	個	41	
消波ブロック据付	直立消波ブロック（1/2型）, 7.05t/個	個	18	
消波ブロック据付	プレキャスト版（標準型）, 2.3t/個	個	41	
消波ブロック据付	プレキャスト版（1/2型）, 1.15t/個	個	18	
6. 仮設工				
(1)大型土のう設置撤去				
大型土のう製作	割栗石（流用材）	袋	275	「概」
大型土のう設置	割栗石（流用材）	袋	275	「概」
大型土のう撤去		袋	275	「概」
(2)産業廃棄物処理				
産業廃棄物処理	廃プラスチック類	kg	700	「概」
産業廃棄物処理	汚泥	ton	0.79	「概」
(3)安全費				
交通誘導警備員		人	32	「概」
7. その他				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(1)事業損失防止施設費				
排水ポンプ				
排水ポンプ設置撤去		箇所	1	「概」
排水ポンプ運転	30m3/h	式	1	「概」
濁水処理施設	処理能力30m3/h	日	33	「概」
水質調査				
水質測定	水素イオン濃度 (pH) , 携帯用	回	34	「概」
水質測定	濁度, 携帯用	回	34	「概」
(2)運搬費				
重建設機械分解・組立・輸送	クローラークレーン100t	式	1	
8. 一括計上価格				
(1)水質調査				
水質分析	浮遊物質質量 (SS)	回	6	「概」
(2)産業廃棄物処理税				
産業廃棄物処理税	汚泥	ton	0.79	「概」

位置図

S=1/10,000



基準点座標一覧表 (R5成果 世界測地系)

測点名	X	Y	標高 (※日本測地系)
基-1	-13,555.539	-44,245.394	+ 5.174
基-2	-15,694.198	-44,489.474	- 0.227
基-3	-15,963.152	-43,648.964	+ 1.224
基-4	-16,472.371	-42,612.774	+ 6.261
基-5	-16,043.798	-42,448.918	+ 1.235
基-6	-17,310.159	-40,830.866	+ 0.333
基-7	-16,344.334	-40,187.381	+ 5.600
基-8	-15,382.165	-39,831.841	+ 6.354

(注) 座標は世界測地系 (測地成果2000以降)
標高は日本測地系 (測地成果2000以前)

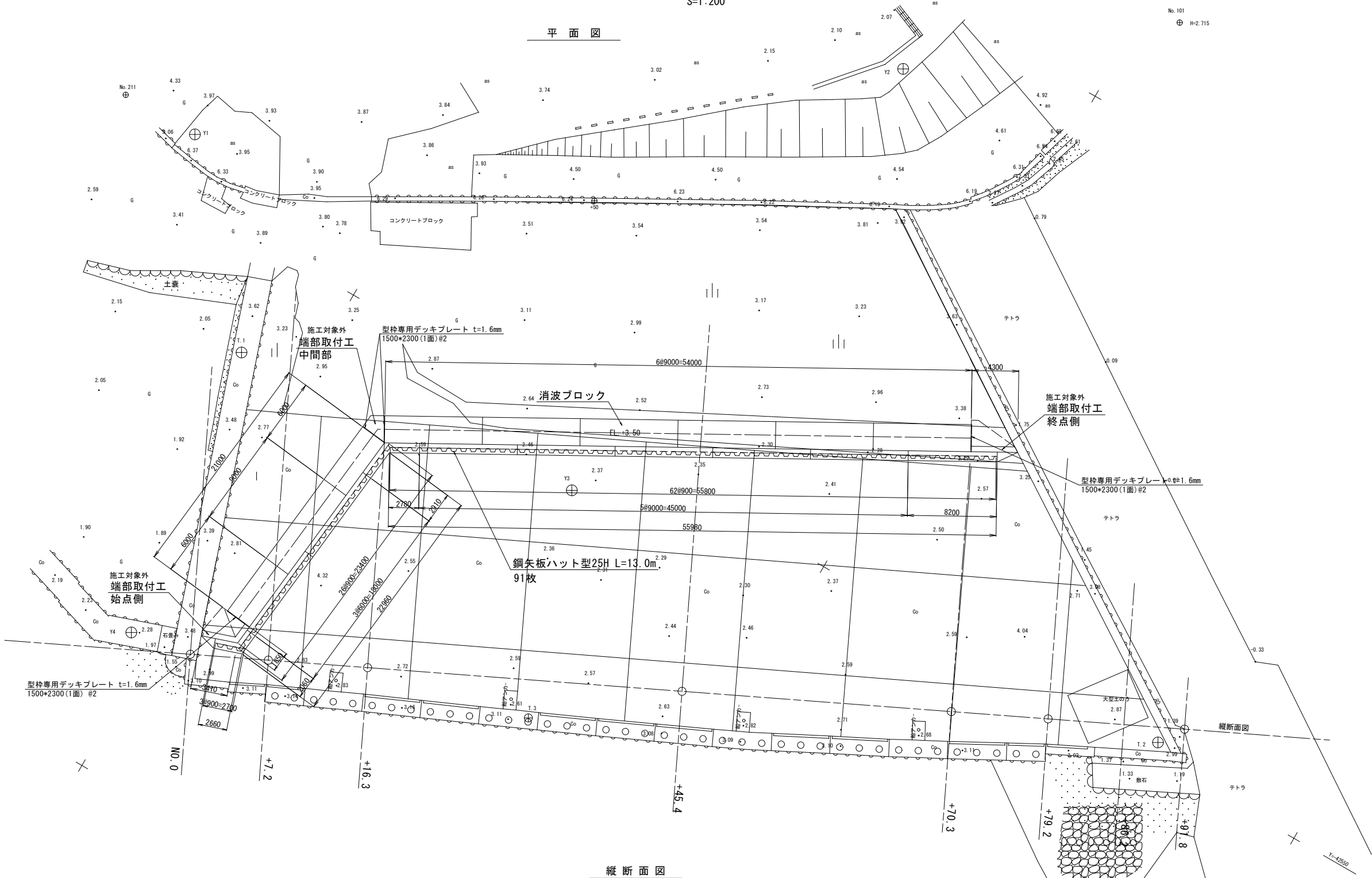
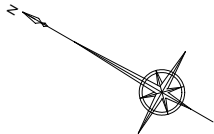
工事名	令和6年度 玉名横島海岸保全事業 横島荷揚場施設整備その1工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	1:10,000	図面番号	1
会社名			
事業者名	九州農政局 玉名横島海岸保全事業所		

計画平面図

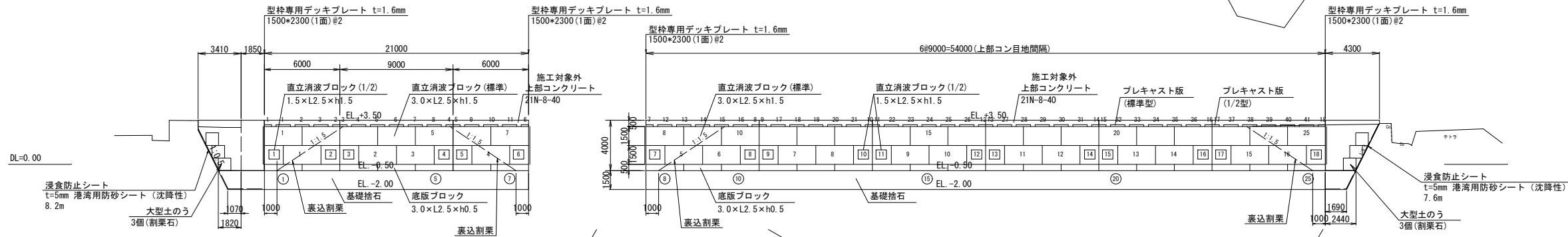
S=1:200

平面図

No. 101
⊕ H=2.715



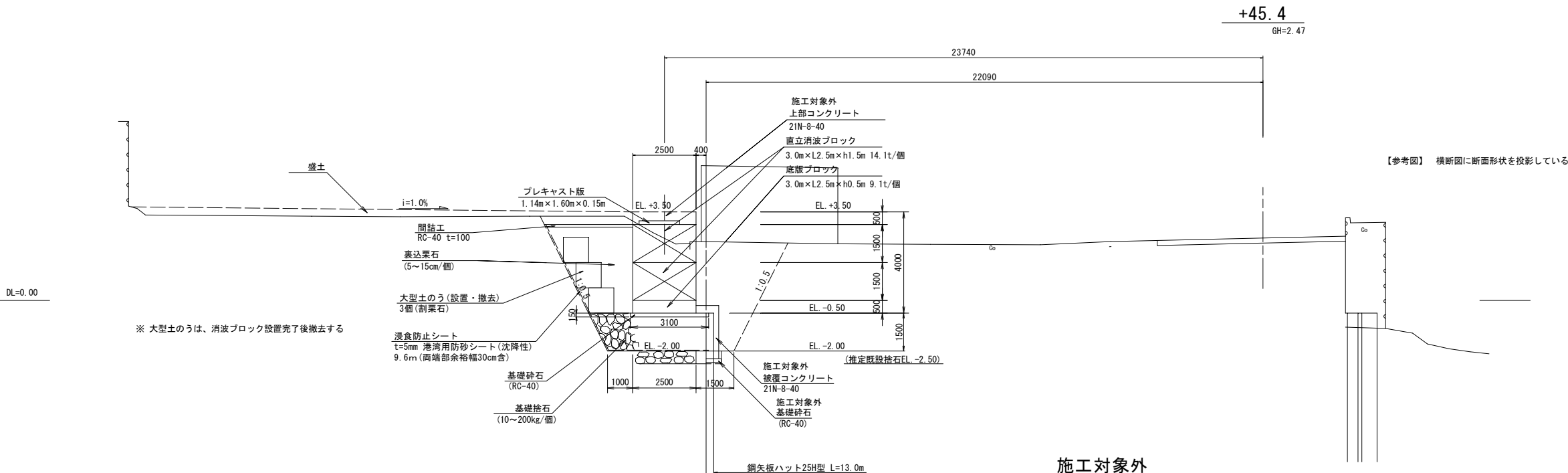
縦断面図



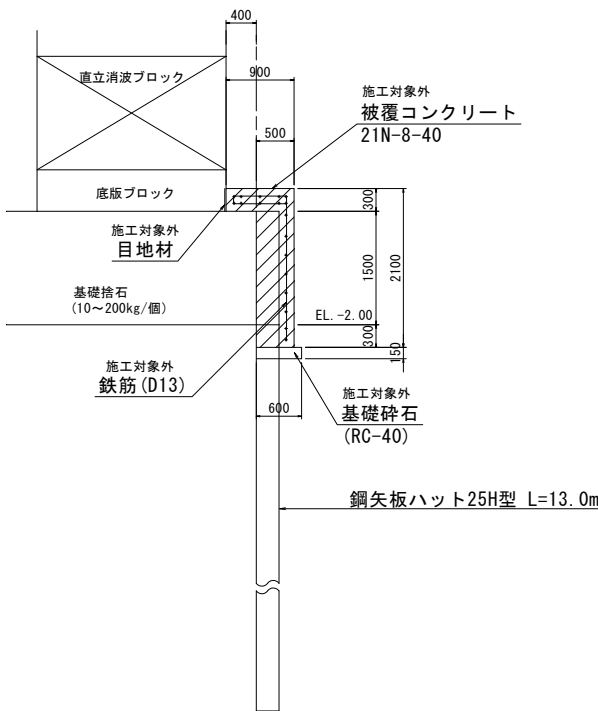
工事名	令和6年度 玉名横島海岸保全事業 横島荷揚場施設整備その1工事		
図面名	計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	2
会社名			
事業者名	九州農政局 玉名横島海岸保全事業所		

標準断面図

S=1:100



施工対象外
被覆コンクリート
S=1:50

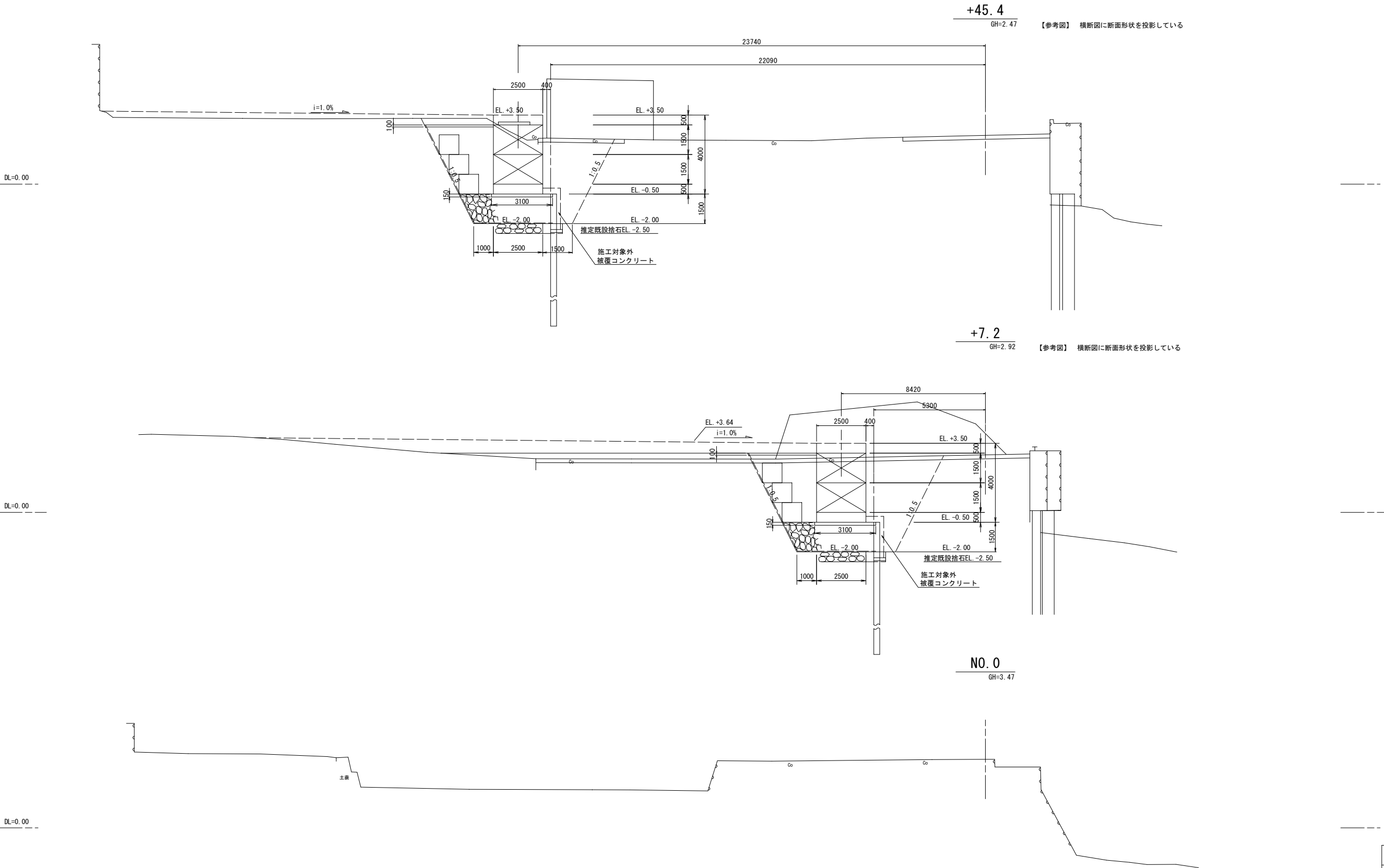


【参考図】 横断面に断面形状を投影している

工事名	令和6年度 玉名横島海岸保全事業 横島荷揚場施設整備その1工事		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	3
会社名			
事業者名	九州農政局 玉名横島海岸保全事業所		

計画横断面図

S=1:100



工事名	令和6年度 玉名横島海岸保全事業 横島荷揚場施設整備その1工事		
図面名	計画横断面図		
作成年月日			
縮尺	S=1:100	図面番号	4
会社名			
事業者名	九州農政局 玉名横島海岸保全事業所		

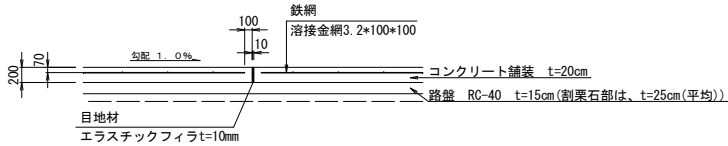
構造物取壊工

S=1:200

平面図

No. 101
H=2.715

コンクリート舗装撤去構造図
S=1:50



工事名	令和6年度 玉名横島海岸保全事業 横島荷揚場施設整備その1工事		
図面名	構造物取壊工		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
会社名			
事業者名	九州農政局 玉名横島海岸保全事業所		